

# 令和4年度（2022年度）行政評価シート

令和4年7月29日

評価者	都市景観部長 古賀久貴
-----	-------------

## ○ 施策の概要

総合計画上の位置付け	分野 3-(1) みどり	施策の方針	3-(1)-①緑の保全等
目標とするまちの姿	緑地が良好に維持されることで、その機能が十分に発揮され、快適で災害に強い都市環境が保全されています。市街地の緑を維持管理する担い手の育成が継続的に行われ、市民の自発的な活動が活発に行われています。		
主な取組	<p>(1) 緑の保全・質の充実                  国・県と協力しながら広域的な緑地保全を推進します。また、良好な緑地環境を維持するために市が保有する緑地の活用方策を検討するとともに、民有緑地の所有者への支援と維持管理の担い手の育成を継続し、緑の質の充実に努めます。</p> <p>(2) 市民が主体となる緑化への支援                  まち並みのみどりの奨励事業をはじめとして、市民の自発的な活動を支援し、市民が主体となる市街地における緑化活動を推進します。</p>		

## 1 成果指標

成果指標①	豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに市民がみどりとふれあえるよう積極的な活用を図っていると思う市民の割合						出典	市民アンケート調査		
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考	
令和2年1月	%	目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0		
78.4		実績値	未実施	84.5						
		達成率	—	105.6%						
成果指標②	歴史的風土特別保存地区・近郊緑地特別保全地区・特別緑地保全地区の指定など、法制度により保全を担保した緑地のCO2吸収量						出典	低炭素まちづくり実践ハンドブック(国土交通省)、鎌倉市のみどり		
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考	
平成31年度	t-CO2/ha・年	目標値	1,161.2	1,161.2	1,161.2	1,161.2	1,161.2	1,168.7		
1,161.2		実績値	1,161.2	1,161.2						
		達成率	100.0%	100.0%						
成果指標③	特別緑地保全地区指定面積						出典	鎌倉市のみどり		
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考	
平成30年6月	ha	目標値	49.4	49.4	49.4	49.4	49.4	54.3		
49.4		実績値	49.4	49.4						
		達成率	100.0%	100.0%						

成果指標④ 緑地保全契約の面積						出典		鎌倉市のみどり	
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
平成30年度	ha	目標値	53.2	53.4	53.6	53.8	54.0	54.2	
53.0		実績値	51.8	48.3					
		達成率	97.4%	90.4%					

## 2 投入コスト

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	160,975	133,384				
人件費	62,116	64,381				
総事業費	223,091	197,765				

## 3 担当部評価

### (1)「施策の方針の成果指標」の達成状況等を踏まえた施策の達成状況の分析

#### 都市景観部

歴史的風土特別保存地区や特別緑地保全地区など、地域制緑地の拡大指定等については、令和2年度から実施している緑の基本計画の見直し後に着手する予定としていたため、初期値からの変動が無く達成率も100%となっている。

今回の緑の基本計画の見直しは、保全を図ってきた緑の質が向上し、市民にとって安全、安心なものとなる道筋を提示することを主眼に取り組んだ。

緑地保全契約の面積については、契約者が山崎・台峯緑地の整備に伴う用地買収に応じたことから減少したものもある。買収した土地については引き続き保全が担保されている。

### (2)今後の方向性

#### 都市景観部

歴史的風土特別保存地区や特別緑地保全地区など、地域制緑地の拡大指定等については、令和4年3月に緑の基本計画を改定したため、この内容に沿って令和4年度から着手する予定である。

緑地保全契約については、土地所有者の意向に沿って新規契約に応じていくこととする。一方で、緑地の所有者に対する維持管理の支援制度である保存樹木等奨励金、緑地保全契約奨励金について、将来的には廃止し、民有緑地維持管理助成事業に統合することを検討していく。

樹林管理事業は民有緑地維持管理助成事業の実施状況を踏まえ、将来的な統合を見据えた検討をしていく。

### (3)施策の方針にひもづく事務事業の評価結果

重点事業	整理番号	事業名	法定受託事務	事業費(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)	事業評価	貢献度	最終評価
	都景-09	緑政運営事業		5,206	20,485	25,691	現状維持	A	現状維持
	都景-10	緑地取得事業		0	7,587	7,587	現状維持	A	現状維持
	都景-11	緑化啓発事業		2,151	10,622	12,773	拡充	A	拡充
	都景-12	緑地保全事業		92,946	15,933	108,879	拡充	A	拡充
	都景-13	風致保存会助成事業		22,028	1,517	23,545	現状維持	A	現状維持
	都景-15	樹林維持管理事業		11,053	8,237	19,290	現状維持	A	現状維持

#### (4) 貢献度に関する分析

##### 都市景観部

緑政運営事業については、緑の基本計画の見直しが完了し、緑地の維持管理についてこれまで以上に重要なものであると位置付け、各施策を実施することとした。

緑化啓発事業については、緑のレンジャーシニア講座の実施や修了者団体との連携により、市有又は私有緑地の維持管理の向上に繋げることができた。

緑地保全事業については、民有緑地維持管理助成事業を新たに創設し、面積500,000㎡を超える民有緑地の維持管理が進んだ。